

江戸時代の城下町を思い浮かべながら、姫路の町をお散歩。

# 城下町の道や濠めぐり

姫路城の城下町であったエリアには当時の風情を偲ませる魅力が多く残っています。  
なかでも道路や濠・土塁などの都市インフラの遺構は城下町であったことをわかりやすく感じさせる魅力です。



所要時間

30分



①駅前横断歩道はかつての外濠跡



②南町中央通り



③中ノ門筋



④南町栄通り



⑥江戸時代に華美上の西国街道であった西二階町



③中ノ門筋に掲示されているかつてのまちなみ写真



⑦中濠を埋め立てて建設された国道2号線



⑫堀路城南側で唯一残る外濠跡



⑩福中橋付近



⑧中之門の石垣 (1988年築造)



⑫外濠跡の南東端から東は暗渠になっている



所要時間：約30分 (休憩をいれて70分)

# 城下町の道や濠めぐり

姫路城の城下町であったエリアには当時の風情を偲わせる魅力が多く残っています。なかでも道路や濠・土塁などの都市インフラの遺構は城下町であったことをわかりやすく感じさせる魅力です。



所要時間

30分



## 1 駅前横断歩道

山陽百貨店前の横断歩道はかつて姫路城の**外濠**があった場所、つまり姫路城の**最南端**でした。土塁が明治21年に撤去され、外濠も大正2年頃に埋め立てられました。その後大正12年には外濠跡に神戸姫路電気鉄道（現在の山陽電鉄）の線路が敷かれ、今や外濠跡であることを知る人はほとんどいません。

## 2 南町中央通り

南町中央通り商店街の途中には、姫路城の南の**玄関口**で「**節磨津**」から「**節磨街道**」を攻め上ってきた敵を迎え撃つ重要な門だった「**節磨口門**」がありました。明治11年に撤去、跡地には公立姫路病院や山陽電鉄姫路駅が建てられ、現在はその痕跡は一切ありません。

## 3 中ノ門筋

中曲輪に設けられた「**中ノ門**」に至る道で、この門を「**大手門**」と記す地図もあることからここが江戸時代の**メインストリート**だったことが推測されます。戦災のため古いまちなみは残っていませんが、城下町の面影を残す町名や城下に暮らした人々の物語があちらこちらに隠れています。

## 4 南町栄通り

戦前は「**十二所通り**」と呼ばれる十二所神社への**参道**でした。この十二所神社は戦災を受け、戦後に再建されましたが復興整備事業によって従来より少し北に遷されました。

## 5 西二階町

江戸時代の「**西国街道**」であり、通り沿いには大名や旗本、幕府役人などが泊まる**本陣**や**脇本陣**などが置かれていました。築城当時は一筋北の「**札の辻**」が西国街道だったのですが、中濠の工事の影響で西二階町が事実上の西国街道になり、**旅籠**や**料亭**が軒を連ね繁栄していきました。

## 6 札の辻

ここは幕府や領主が決めた法度や掟書を掲げる「**高札場**」が置かれたために「**札の辻**」と呼ばれていました。ここは西国街道と中ノ門筋が交わる当時の目抜き通りで、**姫路城の表玄関**であり、「**国府寺家**」などの城下でも最も大きな町家が軒を連ねていました。

## 7 国道2号線

姫路城の**中濠**を埋め立てて造られました。このあたりは大正元年に「**市域の拡大、市制の革新、実業の振興**」を掲げる堀吉吉市長によって埋め立てられ新しい**商業地**となりました。その後、**自動車の普及**により昭和7年には南部の中濠をすべて埋め立て、そこに**新国道**が建設されたのです。

## 8 中ノ門の石垣

中ノ門の石垣は大正時代のはじめの濠の埋め立ての際に取り壊され、現在はほんの一部しか残っていません。しかしその概容から江戸時代、ここにそびえていた**巨大な櫓門の姿**を想像することができます。

## 9 黒い鉄平石

姫路の町中には、中ノ門跡の南の歩道上のように黒い「**鉄平石**」が張ってあるところがいくつもあります。これは**発掘調査**の際、**石垣が出土**された場所を示したもののなのです。

## 10 福中町付近

この辺りには「**備前門**」がありました。明治維新後、交通の妨げになるとの理由から明治8年に撤去が始まり、最初に**節磨津門**、**外京口門**、**備前門**が撤去されました。また土塁は明治21年の**国鉄の敷設**と**姫路駅建設**のために田んぼを埋め立てるための土として利用されたようです。

## 11 大蔵前公園

江戸時代、藩の**米蔵**が置かれていたことから大蔵前町と呼ばれ、また備前門内には**姫路藩の監獄**があり多くの者が獄死したと伝えられています。特に幕末には、姫路藩の**勤王派の志士**たちが投獄され、多くの命が失われたため、この地に「**姫路藩勤王志士終焉之地**」の碑が建立されたのです。

## 12 船場川・船場川跡

姫路城南側の**外濠**のうち**唯一残る**のがこの濠です。船場川と平行して配置されていた外濠がおよそ**100m**の間、当時の姿を留めています。外濠は当該地の南端から東へ折れ曲がっていましたが、現在は**暗渠**になっており地上からその姿は見えません。



## ちょっと寄り道。

### A 「銘菓玉椿」の伊勢屋本店

元禄年間（1688-1704）創業の老舗和菓子店。この名菓「玉椿」は、姫路藩酒井家の名家老・河合寸翁の要請を受け、幕府御用達の菓子師・金澤丹後の下で学び、後の城主酒井忠学と家齊の娘・喜代姫との婚儀に合わせて考案した創作和菓子です。その後、姫路藩御用達菓子となり、現在も姫路を代表する銘菓となっています。



### B 焼売で有名な「東来春」

中ノ門筋にある大衆中華の店。戦前満州で暮らした先代が、昭和21年に開業して以来、60年以上地元の人々に愛されています。特にモチモチ感たっぷりの「焼売」は有名で、「焼ぎ焼売」と「蒸し焼売」があり、なぜかみんなウスターソースをかけて食べます。また姫路おでんの具材としても人気があります。



参考文献：姫路ぶらぶらガイドブック／姫路ええとこマップ（姫路円卓会議発行 2009.9）